

組織の活動紹介

県内で取り組む組織の活動について紹介します。



◇赤羽なまずの里地域保全会『真岡市』：令和元年度に新規活動組織を設立

当組織は真岡市の北部に位置し、赤堀川を水源とする約100haの水田地帯で、今年度から農地維持支払交付金を受けて草刈りや泥上げ等の基礎活動を始めました。

組織設立の下地のひとつとなった「赤羽なまず部会」は平成4年に真岡市地域づくり事業により市の支援を受けて発足し、地域のシンボルとしてナマズを保全していこうと活動を展開してきたところです。

特に当地域を流れる3本の幹線水路が合流する区域を保全区間とし、水路の裏側に塩ビパイプを設置してナマズに棲み家を提供しています。

毎年11月に実施している生息状況調査の結果、当地域には現在約300匹のナマズが生息していることが分かっており、調査で捕獲したナマズの一部は地域興しのイベントで振る舞われています。(イベントに交付金は使用されていません。)



佐藤真一代表

近隣で活発に活動する市外の活動組織なども参考に本交付金が真岡市に広がるきっかけになればと思っております。これまで大人中心で行っていたナマズの生息状況調査に子供たちやその親の参加を募り、離農された方や地域住民のみなさんにも本交付金活動に興味を持ってもらえればと思案中です!

◇れんげの里川田活動組織『野木町』：社会福祉法人との連携

当組織では障害者の就労を支援する社会福祉法人と連携し、農業体験(もち米の種まき、田植え、稲刈り、脱穀等)を行っています。障害者の方にも、田植えの際は裸足で土を感じ、稲刈りの際は手作業で収穫の喜びを感じてもらっています。

この活動は、鈴木代表が仕事を通して関わっていた社会福祉法人常務の「入所者にも農業にふれてほしい」という想いに、代表をはじめ組織の構成員の方々が賛同したことをきっかけとして平成25年から始まり、社会福祉法人の入所者や職員、組織の構成員など総勢70名程度で実施されています。

幅広い年代の方が参加し、人によって障害の重さも違いますが、それぞれができる範囲で農業とのふれあいを楽しみ、心に潤いがもたらされています。



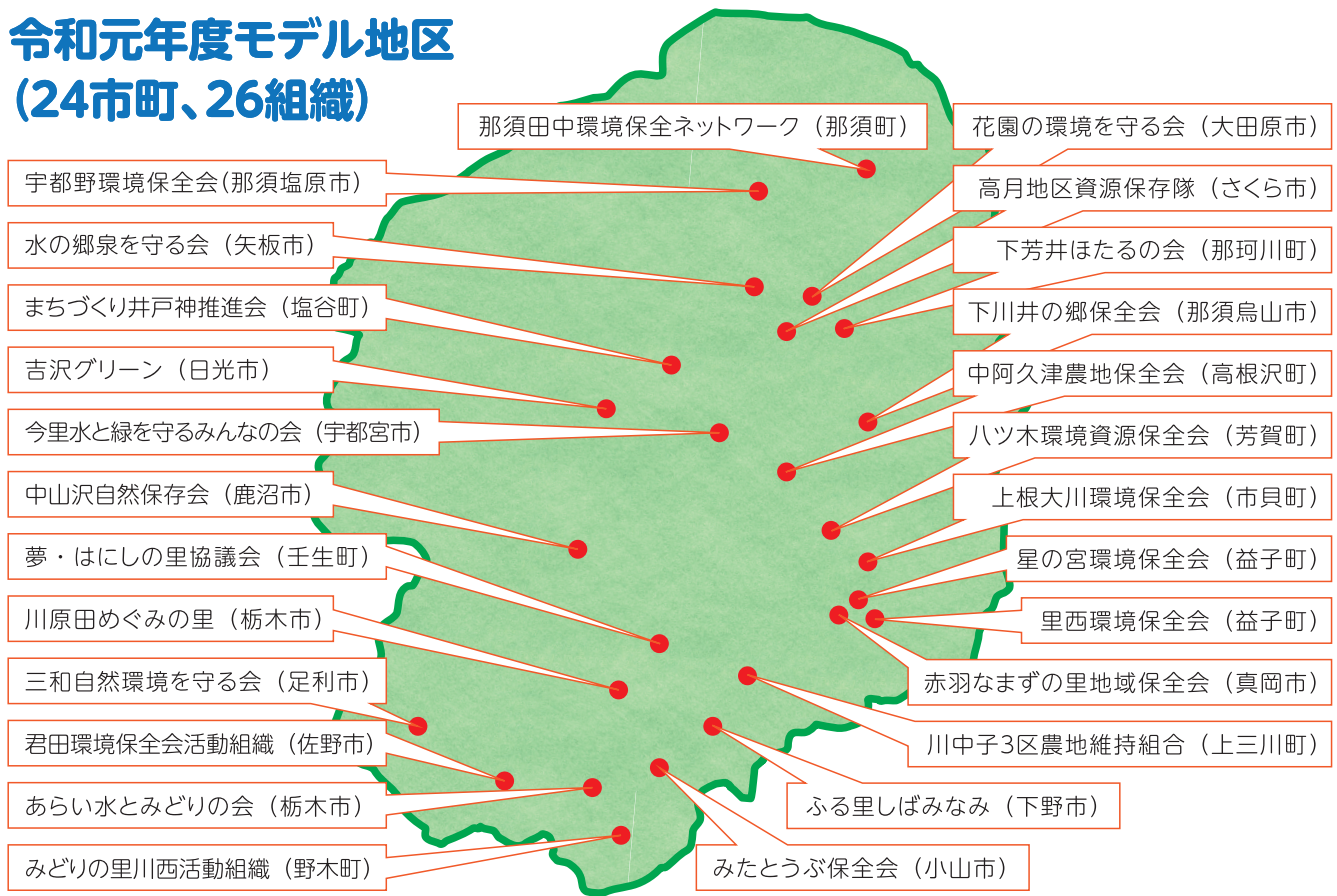
鈴木敏男代表

活動を始める前は、幅広い年代の障害者の方にどう接したらよいのだろう、稲刈りの際は鎌を用いるので危ないのではないかと、という不安もありました。入所者の方にほぼマンツーマンで対応する形をとることで安全を確保し、随時声掛けをしながら活動をすることで、本当に楽しそうに活動している姿が見て取れるようになりました。「今日の活動は終わりですよ」と言っても田んぼから出てこない入所者の方もいるほどです!

地域営農ビジョンのモデル地区の取組について

県では、活動組織が自ら、農道や水路などの保全活動や地域農業の担い手の育成・確保等に向けた話し合いを行い、将来の地域づくりや農地利用を可視化した「地域営農ビジョン」の策定を促進していきます。令和元年度は、当交付金に取り組み全市町においてモデル地区を設定し、その策定を支援します。

令和元年度モデル地区 (24市町、26組織)



生きもの調査の結果について (H30アンケートより)

生態系保全活動のうち、多くの活動組織が実施している生きもの調査の結果、県内では絶滅危惧種を含めた数多くの生きものを確認することができました。

生息を確認することができた組織の数

(※ 赤字は絶滅危惧種)

(魚類)



(両生類)

ドジョウ	364	タモロコ	107	トウキョウダルマガエル (Cランク)	245
フナ(キンブナBランク)	161	カジカ(要注目)	99	ニホンアマガエル	224
コイ	144	ヤマメ	96	アカハライモリ(Bランク)	153
ホトケドジョウ(Bランク)	142	ナマズ	85	ニホンアカガエル(Cランク)	128
カワムツ	140	スナヤツメ(Bランク)	65	ツチガエル(Bランク)	87
シマドジョウ(Cランク)	132	ギバチ(Cランク)	63	ウシガエル(特定外来生物)	66
アブラハヤ(要注目)	124	ヨシノボリ	63	ヤマアカガエル(要注目)	30
ウグイ	123	ギンブナ	46	シュレーゲルアオガエル (Cランク)	23
オイカワ	118	モツゴ	37	ヌマガエル	18
メダカ(ミナミメダカBランク)	114			アズマヒキガエル(Cランク)	15

視察研修を実施する際の確認ポイント

視察研修を行うことは活動の幅を広げるうえで有効な手段です。他の組織で行っている様々な充実した活動を学び、組織一丸となって挑戦してみましょう!

一方で、研修のあり方を疑問視する声もあります。以下のことに注意しましょう。

視察研修へ行く前に…

- まず、市町担当者に相談しましょう。
- 県外研修は、県内では行われていない活動を視察する場合に限り選択しましょう。



当日

- 参加人数は最少人数で最大限の効果を目指しましょう。
(技術研修であれば2～3名で受け、持ち帰って組織内に周知するなど工夫しましょう。)
- 研修に係る謝礼やお土産等は交付金から支出することは出来ません。
(説明資料の印刷費等を支払うことは可能です。)



視察研修から戻ったら…

- 報告書を作成しましょう。
- 研修に係る日当の支出は研修を受けた時間で整理しましょう。
(移動時間は除きましょう。)

とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ及び写真コンテストを開催します ～マップで「地域の宝発見マップの部」を新設しました!～

とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ

- ・ 田んぼまわりの生きものマップの部
- ・ 地域の宝発見マップの部



とちぎの豊かな農業・農村づくり写真

- ・ 田んぼまわりの生きもの調査の部
- ・ 地域ぐるみの活動の部



★応募期間：令和元年9月2日(月)～令和元年10月31日(木)

★応募方法：応募作品裏面に作品応募票を糊付けし、
市町の担当部署へご提出ください。

※応募対象や規格等、詳しくは県協議会ホームページをご確認ください。



表彰式があり、賞状・賞品も
用意しています!

たくさんのご応募
お待ちしております♪





多面的機能支払交付金の推進について

県では、本交付金の取組拡大のため、農用地面積に占める割合を55%とすることを目標として推進に努めています。

新規組織の採択や既存組織の取組エリアの拡大など、随時受付しておりますので、要望がございましたら、お住まいの市町へお問い合わせください。また、本交付金に取り組んでいない隣接集落がございましたら、本交付金の内容について紹介いただくと幸いに存じます。



県協議会からのお知らせ



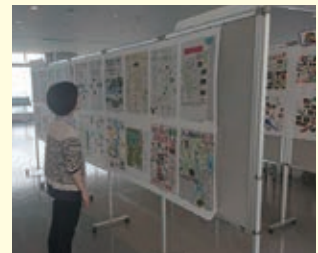
活動組織研修会を開催します!

- 日 時：令和2年2月14日（金）
 - 会 場：宇都宮市文化会館 大ホール
 - ※コンテスト表彰式他を行います。
- 詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。



活動組織の取組等を紹介するパネルの展示

- 芳賀町：芳賀町情報館（7月18日～8月31日）
 - 県 庁：15階 企画展示ギャラリー（9月27日～10月4日）
 - 小山市：市制65周年記念「農業・工業・商業フェスティバル小山65」（11月9日～10日）
- 市町、組織の皆様より展示希望がありましたらお気軽にご連絡ください！



まだまだ暑い日が続きます～熱中症に注意!～

- のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。
ナトリウム等を含んだスポーツ飲料等がよいでしょう。
カフェインを含むお茶やコーヒー、アルコールを含む酒類には利尿作用があり、かえって脱水症状を進めてしまう危険もあります。

- 涼しく過ごせるよう服装も見直しましょう。
吸湿性、通気性のよい素材の衣類を選ぶようにしましょう。
「暑いから何も着ない」というのは逆効果です。

※熱中症かな?と思ったら・・・

まずは涼しい場所で服をゆるめ、体を冷やしながら安静にし、水分・塩分を補給しましょう。
熱中症は命に関わる場合があります。激しい頭痛や高熱など、症状が重いときはすぐ病院へ行きましょう。

